



日本を駆ける 近代の風

—暮らしのデザイン、魅せるデザイン—

京都工芸繊維大学美術工芸資料館

MUSEUM AND ARCHIVES
KYOTO INSTITUTE OF TECHNOLOGY

2025 年 7 月 28 日(月) — 9 月 20 日(土)

開館時間 10時—17時(入場は16時30分まで)

休館日 日曜・祝日、8月13日(水)—16日(土)

入館料 一般 200円、大学生150円、高校生以下無料

* 大学コンソーシアム京都に加盟する大学の学生・院生は学生証の提示により無料

* 身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳、戦傷病者手帳または被爆者健康手帳をお持ちの方及び付き添いの方1名は無料(入館の際は、手帳の提示をお願いします)

京都工芸繊維大学
美術工芸資料館
MUSEUM AND ARCHIVES



京都・大学ミュージアム連携
University Museum Association of Kyoto

京都工芸繊維大学美術工芸資料館では、展覧会「日本を駆ける近代の風 ― 暮らしのデザイン、魅せるデザイン ―」を開催します。本展は博物館実習の一環として、本学学生がキュレーションと展示を行いました。急激な近代化のうねりのなかで、日本人の生活は大きく変容しました。本展は、江戸末期から明治維新を経て昭和初期までの日本の近代化の道のりを、「染色」「広告メディア」「単化ポスター」「百貨店」の四つのトピックで紹介します。近代化の過程で生まれた多彩なデザインや技術、表現のかたちは、時代の息吹や美意識を今に伝えてくれます。

第1章

染色

友禅染やローラー捺染による着物や裂地、見本帖を通して、近代化の中で発展した染色業の広がりや多様性を紹介します。



《捺染見本帖》より(AN.24-1-39-1)



《銭屋看板》(AN.2264-7)

第2章

広告メディア

江戸時代の看板から明治以降の引き札・ポスターに至るまで、時代とともに変化する暮らしを彩る広告デザインをお楽しみください。

第3章

単化ポスター

大正期に登場した「単化ポスター」は、写実的な表現を排し、シンプルながら考え抜かれた構図と明快な色彩でデザインの近代化を図りました。



《三等寝台車 2月1日より使用開始 /大阪鉄道局》1930年(AN.4834-12)



岡田三郎助《三越呉服店(むらさきしらべ)》1909年(AN.5203-1)

第4章

百貨店

近代都市の象徴といえる百貨店に焦点を当て、私たちの暮らしや文化をどのように彩ってきたか、ポスターなどを通して紹介します。

同時開催

大阪・関西万博開催記念「工芸と京都―近世から近代へ」
2025年7月28日(月)～9月20日(土)

お問い合わせ

〒606-8585京都市左京区松ヶ崎橋上町
TEL 075-724-7924 <https://www.museum.kit.ac.jp/>

交通

○市営地下鉄烏丸線「松ヶ崎駅」下車1番出口から徒歩約8分
○京都バス「高野泉町」下車、徒歩約10分
○叡山電車「修学院駅」下車、徒歩約15分
By Subways: Take Karasuma Line Subway to "Matsugasaki" Station, exit from Exit 1 and walk east for 8 minutes.
By Kyoto Bus: Get off at "Takano-Izumicho" stop. Cross the Takano river and walk west for 10 minutes.
By Eizan Railway: Get off at "Shugakuin" station and walk west for 15 minutes.
Museum and Archives is located in front of the main entrance of KIT west campus.

